

2011年10月20日
東京急行電鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

**Suica付社員証・PASMO付社員証の新サービス登場
超カンタン 交通費精算書作成システム「乗り降りログ」
2011年10月からサービス申込受付を開始します**



東京急行電鉄株式会社(以下「東急電鉄」)は、社員が業務で使用した交通費を会社に申請する際に提出する交通費精算書を簡単に作成するシステム「乗り降りログ」を開発し、2011年10月より、Suica付社員証・PASMO付社員証等を導入した企業向けにサービス申込受付を開始します。

「乗り降りログ」は、Suica付社員証・PASMO付社員証等をPCの読取端末に「タッチ」するだけで、社員情報の登録や乗降データの読み取りを行い、当該データを使って交通費精算書を作成することができるサービスです。システムへの初期登録不要、利用者だけの課金、鉄道会社だからこそ可能な正確な情報提供といった大きな特徴があり、「乗り降りログ」を導入すると、これまでみなさまが交通費精算に対して抱えていた「面倒」「人件費がかさむ」といった問題を解決することができます。

また、「乗り降りログ」のサービス提供開始にあわせて、東日本旅客鉄道株式会社(以下「JR東日本」)は「乗り降りログSuica」を、東急電鉄は「乗り降りログPASMO」を発行します。

「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」は、Suica付社員証・PASMO付社員証と同様「乗り降りログ」や各種IC認証に利用することができますが、Suica付社員証・PASMO付社員証のように社員証として使用しないので、券面への社名等の印字を必須としていないのが特徴です。これにより、セキュリティ上などの理由で券面に社名を載せたくない企業でも、交通乗車券機能および電子マネー機能のついた個人認証カードを導入できることとなります。


「乗り降りログ」・「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」の詳細につきましては別紙をご覧ください。

東急電鉄、JR東日本は、今後も「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」・「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」・「乗り降りログ」の導入拡大ならびに利便性向上に努めます。

Suicaは、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。

株式会社パスモ商標利用許諾済 第64号(東京急行電鉄株式会社 許諾)

PASMOマーク  及び **PASMO** は株式会社パスモが本商品・サービスの内容・品質を保証するものではありません。

乗り降りログは、東京急行電鉄株式会社において商標出願中です。

(別紙)

「乗り降りログ」の特徴

1. 初期登録不要

Suica付社員証・PASMO付社員証等をPCの読取端末に「タッチ」するだけで、社員情報の登録が完了します。社員の「社員番号」と「カードID」の紐付けをシステムに登録するといった面倒な作業は不要であるため、社員の手間が大幅に削減され、業務効率化に寄与します。また、Suica付社員証・PASMO付社員証等に登録された乗降データ等を読み取るため、計算間違いや経路の調べ間違いなどによる「請求漏れ」「誤請求」を未然に防ぐことができます。

2. 利用者のみ課金される料金体系

「乗り降りログ」は、実際に「乗り降りログ」を利用した人数を毎月ごとに集計し、利用した人数分だけ課金する料金体系をとっています。よって、一部の社員のみに外出が集中するような企業でも安価に導入できます。

また、「乗り降りログ」を導入するにあたり必要なものは、「インターネットに接続可能なPC」「ICカードリーダーPaSoRi」「Suica付社員証」または「PASMO付社員証」(もしくは「乗り降りログSuica」または「乗り降りログPASMO」)の3点で、高額な設備投資は不要です。

PaSoRiはソニー株式会社製のICカードリーダーです。

3. 鉄道会社だからこそできる、正確な情報提供

駅名等に関するデータは、サービス提供元である東急電鉄が随時更新します。よって、新駅の開業や駅名の変更、運賃の改定などが発生した場合でも、支障なく、継続して利用できます。

「乗り降りログ」利用イメージ

外出先から帰社したら「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」もしくは「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」を「乗り降りログ」がインストールされている端末にタッチする。

交通費精算書作成の際は、インターネットで「乗り降りログ」専用サイトにアクセスし、ログインする。交通費精算書をプリントアウトする。



プリントアウト前に以下の操作が可能です。

- 私用での利用などの不要な履歴を削除
- 足りない履歴の追記
- 「会社訪問」など、摘要の追記

交通費精算書のフォーマットは、有償でカスタマイズすることが可能です。

プリントアウト以外に、csv出力も可能です。

社員が会社への申請を目的としてプリントアウトした履歴以外は、社員以外閲覧できないように設計されているので、「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」もしくは「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」を「業務」と「私用」の両方に利用する場合でもプライバシーは守られ、安心です。

「乗り降りログ」導入までの流れ

「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」もしくは「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」を導入する。

「乗り降りログ」および「乗り降りログ」を利用できる「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」・「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」は、東急電鉄およびJR東日本の提携システム会社（以下参照）を通じて提供します。

・サクサ株式会社 ・東急建設株式会社 ・東芝プラントシステム株式会社 ・凸版印刷株式会社

各提携システム会社により取扱えるサービス・カードの種類は異なります。詳しくは各社にお問い合わせください。

「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」もしくは「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」の読取端末として利用するPCに、「乗り降りログ」のソフトウェアをインストールする。

インストール完了後、即、利用できます。（初期登録等は不要です。）



「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」の初回の発行には、導入の意思決定（契約締結）後約4ヶ月程度必要となります。

「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」の初回の発行には、導入の意思決定（契約締結）後約1ヶ月程度必要となります。

「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」の概要

「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」券面デザイン例

表面



裏面



裏面の定期券情報は、配布時点では印字されていません。

「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」の特徴

- 券面（表面・裏面）に社名、所在地等の企業に関する情報を記載する必要がありません。（表面に社名、所在地等を記載することも可能です。）
- 「乗り降りログ」の利用はもちろん、「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」と同様に入退室管理や出退勤管理等のIC認証としても利用できます。
社員証としてのご利用を希望する場合は、「Suica付社員証」・「PASMO付社員証」をご導入ください。

「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」の提供

「乗り降りログSuica」・「乗り降りログPASMO」は、東急電鉄およびJR東日本の提携システム会社（以下参照）を通じて提供します。

・サクサ株式会社 ・東急建設株式会社

以上